

【高等学校用】

令和8年度学校評価 計画

様式1(高等学校)

達成度(評価)

A: 十分達成できている C: やや不十分である

B: おおむね達成できている D: 不十分である

学校名	佐賀県立佐賀西高等学校
1 前年度	・進路実績に対する学校への内外からの期待は大きく、令和8年度も引き続き様々な取り組みを行う。 ・総合的な探究の時間の取り組みは高く評価できた。昨年度に引き続き、今年度も探究活動の機運を高めていく。 ・標準服制度が開始され生徒の自主性を生かす取り組みが進められている。
2 SAGASクール・ミッション 学校教育目標	○旧制佐賀中学校以来の長い伝統を誇る高校として、科学・文化・社会の創造・発展を担い、将来の佐賀・日本・世界を支え、切り拓く多様な人材を育成する。 ○変化の激しい時代の中で、主体的に生き抜くための社会性や優れた知性、広い視野を獲得する教育を実践する。
4 本年度の重点目標	【スローガン】 志高く、主体的に (1) カリキュラム・ポリシーを着実に実施し、生徒が身に付けるべき力を保障する。 (2) 生徒一人一人の適性・能力を最大限に生かした進路保障を実現する。 (3) 唯一無二の誇り高き信頼される学校づくりに努める。 (4) 組織力向上と業務改善を推進する。

	アドミッション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	グラデュエーション・ポリシー
3 スクール・ポリシー	○高校入学後も様々なことに意欲的にチャレンジする、 次のような人を求めます。 1 高い志、リーダーとしての意欲、実行力を有する人 2 学業に前向きで、一層の向上を目指して努力する人 3 他者との様々ななかかわりの中で豊かな人間性を身に付けようとする人 4 学校行事や部活動などを通して、社会性、忍耐力など身に付ける努力をする人	<教育課程編成及び実施に関する方針> ○次の方針により教育課程を編成します。 ・低学年に必修科目を多く、高学年に選択科目を多く配置 ・2年次は文系・理系、3年次は文Ⅰ・文Ⅱ・理系の教育課程を設置 ・探究活動を継続的に行えるよう、各学年に総合的な探究の時間を設置 ・社会性の発達にあわせて特別活動を計画的に実施 ○5つの力を次のように身に付けていきます。 ・知識等を活用し、判断し、行動していくことで「主体的判断力」を身に付ける。 ・情報リテラシーを身に付け、探究のプロセスを繰り返すことで「課題発見力・解決力」を身に付ける。 ・自己を振り返り、倫理観や人としての在り方を学び、行動に生かすことで「自律力」を身に付ける。 ・協働的な活動や課外活動等での経験を通じて「協働力」を身に付ける。 ・自己を振り返り、各教科や総合的な探究の時間に生かすこと	○「質実剛健」「鍛身養志」を校是とし、品位をもって逞しく生きていくために高い志と社会性を養います。 ○スクール・ミッションを実現するため、次の5つの力を身に付けます。 ・確かな知識や豊かな教養を基礎として、物事を多角的・多面的に吟味・検討し、主体的に判断することができる。（主体的判断力） ・既習の事柄や、自ら収集・整理・分析した情報を活用して、問いを立て、課題解決に向けて思考・判断し行動することができる。（課題発見力・解決力） ・自己を客観的に把握し、確かな人権意識に基づいて自らが立てた規範に従って行動することができる。（自律力） ・他者を尊重し、対話を通じて協働して課題に取り組むことができる。（協働力） ・社会の課題を知り、自己と社会との関わり方をデザインし、その実現に向けて行動することができる。

5 重点取組内容・成果指標				中間評価		最終評価				主な担当者
(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	◎★高い志を持ち、自らの夢や目標の実現に向けて主体的に取り組む態度の育成を図る教育活動の推進	・学習状況調査(主体的な学習への取組に関する自己評価):80%以上 ・学校評価アンケート(進路指導に関する情報提供の項目):80%以上 ・日々の学習の記録集計結果:各学年生徒平均180分以上	・ジェネリックスキルテストとキャリアパスポートを活用し、自己理解を深め、学校生活を振り返らせる。 ・学年に応じた進路情報を生徒、保護者と共有する。 ・各種生徒研修を企画し、生徒が自らのキャリアについて考える機会を提供する。							進路指導主事 各学年主任
	○基礎・基本の確実な定着及び、思考力・判断力・表現力の育成を目指した教育活動の推進	・学習状況調査(授業を通じて学力を向上させられたかに関する自己評価):80%以上 ・学校評価アンケート(教師自身の授業力向上の取組に関する自己評価):80%以上 ・1,2年進研模試全国偏差値55以上の生徒:90%以上 ・進路実現率(3年次12月の第一希望現役合格率):30%以上	・校内模試の作問や大学入試研究、各種研修会への参加を通じて、最新の大学入試に関する情報を入手し、授業改善を行う。 ・各学年で教科担当者連絡会を開き、生徒に関する情報を共有することで、職員が連携して生徒の指導を行う。 ・担任や教科担当者による個人面談を充実させ、きめ細やかな学習ガイダンスを行う。 ・模擬試験や補習等を効果的に実施することで、生徒の学力向上を図る。							進路指導主事 各学年主任 各教科主任
	○生徒の学習用PC活用力の向上	○学校評価アンケート結果: ・生徒のPCの効果的な活用に関する調査授業および授業以外(プレゼンテーションや部活動)で活用している生徒の割合80%以上 ○学習状況調査結果: ・授業時のICT機器利用による授業理解度の向上について 80%以上	・各科目の授業内、総合的な探究の時間、ホームルーム活動、学校行事、部活動等における学習用PCの積極的利用を推進する。							教育情報化推進リーダー 教務主任 (各教科主任) (各部活動顧問)
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○標準服制度の生徒満足度80%以上 ○生徒指導措置数 0件 ○部活動加入率95%以上 ○学校評価アンケート結果 ・校則や交通ルールの順守への自己評価 90%以上 ○SNS使用による不適切な掲載、投稿等のトラブルを0(ゼロ)	・TPOに応じた服装を生徒が自ら考え、選択する必要に応じ、全職員で共通認識を持って支援にあたる。 ・登校時等、交通指導を行う。 ・生徒会を中心として学校行事、部活動、生徒会活動、校外活動等の主体的な企画および参加を促進する。 ・「宋城令和宣言SNS五箇条」を遵守する。 ・集会や情報モラル講演会等で、具体例を交えた説明を行い、被害の未然防止を図る。							生徒支援主任 各学年主任 生徒会主任 (各部活動顧問)
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ重大事案件数: 0件 ○個人または三者面談:年6回 ○学校評価アンケート結果: ・いじめの早期発見と対応への評価 90%以上	・年3回いじめに関するアンケート調査を実施する。 ・クラス担任、教科担当者や部活動顧問、養護教諭等から広く情報を収集する。 ・発覚後の迅速な対策委員会開催、関係職員間での情報共有により組織的に対応し、被害生徒のケアと保護者への説明を適切に実施する。							主幹教諭 各学年主任 生徒支援主任 生徒相談担当

●健康・体づくり		○環境美化への主体的な取組	○学校評価アンケート結果： ・掃除、ごみ持ち帰りへの取組 90%以上	・生徒保健委員によるゴミのチェック、呼びかけを行う。 ・生徒主体型の環境美化に関するHR活動を実施する。						保健主事
		○自発的な読書習慣の確立 ○グローバル社会で通じる幅広い知識と教養の醸成のための活動	○生徒一人当たりの貸出冊数：年5冊以上 ○図書に関する情報を載せた「遠心」(図書館だより)を年8回発行する。 ○社会事象等に関するインフォメーションペーパーを随時発行する。	・読書に関するアンケートを実施し、生徒の実態を把握する。 ・推薦図書等を「遠心」(図書館だより)で紹介する。 ・インフォメーションペーパーで社会事象を紹介する。 ・掲示物やレイアウトを工夫し、図書閲覧室を使いやすく整備する。 ・生徒図書委員による読書活動の呼びかけを行う。						図書・研修主任
		●「安全に関する資質・能力の育成」	○生徒の交通事故：0件 ○生徒の自転車マナーアップを図り、自転車交通違反件数：0件 ○山・川・海での生活事故：0件 ○間バイトやオンライン詐欺等のネットトラブルに巻き込まれないようにする。	・生徒支援部を中心に登校指導を行う。 ・集会や交通安全講話等で自転車等に対する交通反則通告制度について周知を図り、自転車のルールを再確認・遵守させる。 ・山や海での事故は命にかかわることを認識させ、重大事故を未然防止する。 ・集会や防犯教室等を通し、間バイトやオンライン詐欺等の危険性を理解させる。						生徒支援主任
		○熱中症、感染症予防	○学校生活における熱中症の防止(重度の熱中症0) ○県内・校内の感染症流行情報の発信 ○保健だよりでの感染症予防啓発：年5回 ○学校評価アンケート結果： ・校内の感染症予防への評価 90%以上	・危険がある時期は、暑さ指数を職員室横廊下及び教室等廊下に掲示し予防を啓発する。 ・保健室利用状況及び感染症情報収集システム等を活用で、早期に感染症流行状況を検知し、保健だよりを通して発信する。 ・生徒主体型による感染予防喚起のHR活動を行う。						保健主事 (保健体育科主任) (各部活動顧問)
		●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・定時退勤日、部活動休養日、学校閉庁日の設定と実質的な運用を図る。 ・出退勤システムによる職員の時間外在校等時間の管理・把握と削減の呼びかけを行う。 ・業務協働のさらなる推進と年次休暇等の休暇が取得しやすい環境づくりに取り組む。 ・ICTを活用した業務改善と効率化を図る。						教頭
	●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する教員の専門性と意識の向上	○シエアシートでの情報共有：原則として毎月実施	・特別支援教育に関する職員研修を実施する。 ・個別のケース会議を開催し、関係者間での情報共有を図る。						特別支援教育 コーディネーター 保健主事

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目											主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
★探究活動の推進	★新・理想の星プロジェクトの実践	★活動を通して、自らの思考が深まった90%以上 ★他者と協働しながら主体的に活動できた90%以上 ★自分の学校を中学生に勧めることができる生徒90%以上 教職員90%以上		・主体的な探究活動を推進し、他者と協働しながらポスターセッションに向けて準備させる。 ・フィールドワークを推奨し、研究に深まりをもたせる。 ・中学生を含めた多数の聴衆の前で発表する機会をもたせる。						進路指導主事 (各学年主任)	
○個別支援の必要な生徒への対応	○個々の生徒の状況に即した教育相談	○今年度新規の不登校による長欠生徒を早期に把握し、学年や生徒支援部との情報共有を密に行う。		・組織的な情報共有と連携による対象生徒の早期発見、早期対応を図る。 ・SC、SSWや外部機関等との連携を強化する。 ・適切な対応力醸成のための職員研修の充実を図る。						教育相談担当 (各学年主任) (保健主事)	
○広報活動	○保護者、地域、中学生への魅力ある情報発信 ○佐賀西高校にふさわしい創立150周年式典の実施	○学校評価アンケート結果： 本校の情報発信の取組への評価 90%以上 ★県外出身受検者数を10人以上		・西高だよりや学校HP、Classi、スクールNEWSを活用した、学校行事や進路情報、部活動成績などの情報を提供する。 ・学校ホームページのサイトに関わる動画等の内容を更新する。 ・学校案内パンフレットの内容の充実を図る。 ・創立150周年についての情報を学校ホームページ等で発信する。						図書・研修主任	

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり

6 総合評価・ 次年度への展望 (簡潔に)	
--------------------------	--